

三木市剣道連盟主催 第百十一回級位認定審査

12月3日(日)9時30分より、三木コミュニティスポーツセンターで、第111回級位認定審査会が開催された。

受審したのは、市内各剣道教室生21名(うち成人1名)。内訳は5級5名、4級9名、3級4名、2級2名(成人1名は県剣道連盟1級受審資格認定のための審査を実施)

審査員は、藤田敏彦、大柴敏昭、大西健、近藤直人、近藤隆宣の5名。



開会式では、神澤正輝会長から、「正しい剣道とは何か。各教室で教

わっているように、正しい打ち方をすること。しかし、正しい剣道はただ、面、小手、胴を打つだけではありません。日ごろの生活も正しくなければ正しい剣道ではありません。合格を祈ります。」とのあいさつがあった。

小林哲也審査委員長は注意の中で「審査はかかっていくことばかりでなく、受ける人(元太刀)の受け方も見ます。うまく相手の技を引き出しているかどうか。しっかりと受けるように注意して受審してください」と話した。

剣士たちは、合格を目指し、緊張しながらも大きな声を出して各級の実技審査に挑んだ。

審査後の合格発表では、全員見事に合格を果たし、緊張も解けて笑顔



がほじけた。その後3級、2級受審者には、木刀による剣道基本技稽古法の審査が行われ、3級は6本目まで、2級は9本目までの審査を受け、全員が合格した。

第8回三木市スポーツクラブ21 交流小学生剣道大会開催される

平成29年12月3日(日)午後1時より加佐コミュニティスポーツセンターで、第8回三木市スポーツクラブ21交流小学生剣道大会が、市内のスポーツクラブに所属する小学生68名を集めて盛大に開催された。開会式では、同クラブ会長富田進氏が、「日ごろの練習の成果を発揮してください」と挨拶。

その後、11月に見事七段に昇段された大柴敏昭氏と小椋治朗教士七段の二人による日本剣道形の演武が行われ、大会に花を添えた。



選手たちは、同学年どうしの個人戦にライバル心を燃やして、全力で戦った。入賞者は以下のとおり。
左から①：優勝②：2位③：3位
【2年生以下の部】
①松田福ノ介②中張柚乃③中西萌絵
③金井千代里



【3年生男子の部】①平野夢大②石井晴斗③倉津優心③松居暉大

